

公述人 1（会場②国土交通省関東地方整備局鬼怒川ダム統合管理事務所）

別紙

私は、鬼怒川右岸中流域の上三川町で農業を営んでいますが、鬼怒川の河床が年々下がり、年を追うごとに用水の確保がますます困難な状況になってきており、大変困っております。私どもの水田は、上三川町南東部の鬼怒川から直接導水している清次郎口用水の水を利用しております。清次郎口用水は、上三川町、真岡市、下野市にわたる水田受益面積108haの用水ですが、頭首工は砂利などでせき止める簡易な工事に対応しているため洪水のたびに流失し、近年は7、8月の稲にとっては重要な時期に水がなくなることがたびたびあり、大きな被害が発生しております。今回の豪雨では、頭首工や1kmある導水路の一部が流失しておりますが、堤防の決壊はありませんでした。私どもの地域では、川幅が広く河床が下がっていることから今後も堤防の決壊は考えられません。今のままでは、今後さらに河床が下がり、ますます用水の確保が困難になることは明白ですので、私どもと共通の認識を持ち、用水の利水に支障きたさない対策を実施されるよう要請します。